

IOT システムのご紹介

工場内のあらゆる機械設備から情報を収集して集中管理し、リアルタイムで機械設備状況を「見える化（視える化）」したり、データ化して出力することができるシステムです。メーカーや機械の種類を問わずに設置できます。

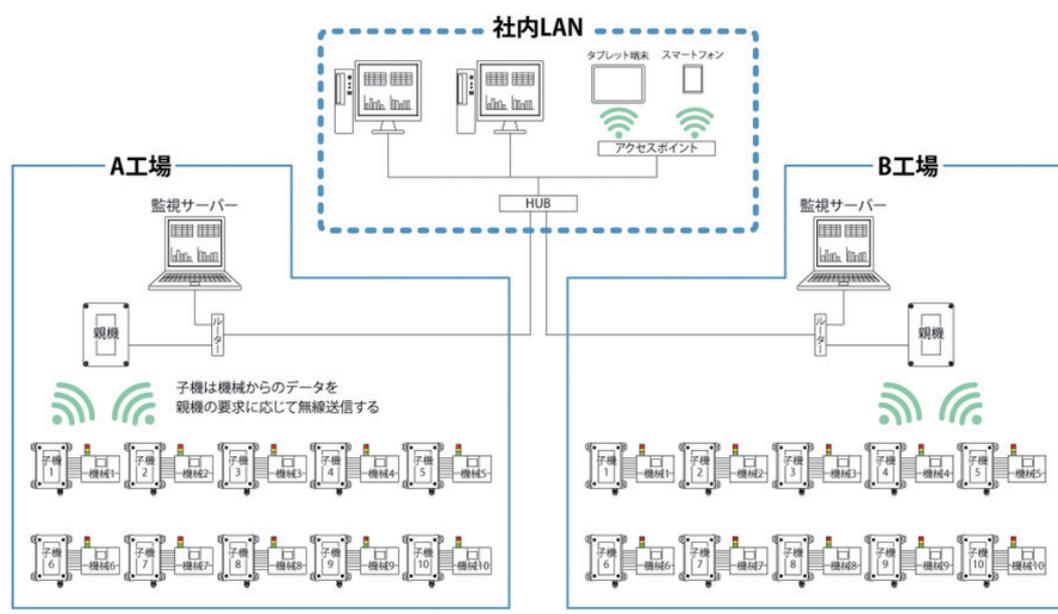
【お困りの声】

- ・工場全体の機械稼働状況を数値化できておらず、改善策を考えにくい。また、集計に手間がかかる。
- ・機械の停止をリアルタイムで把握できず、問題発生時に迅速な対応ができない。
- ・稼働時間を一元管理する機器を導入するにも、配線工事等、コストや時間がかかる。
- ・工場をIoT化するにあたり、何から手をつけていいかわからない。

という課題をお持ちのお客さまに「イマオコーポレーション」のシステムが最適です！

機械設備監視システム ファクトリーステーション

機械設備状況の
見える化に!



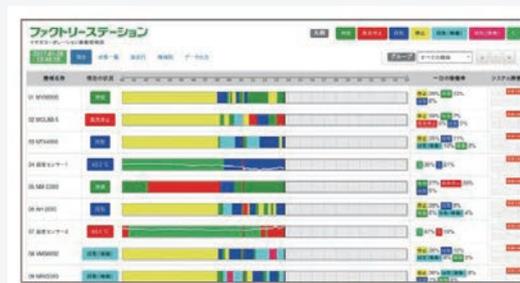
リアルタイム表示

現在の機械稼働状態を表示します。

部署ごとや、機械の種類ごとなど、あらかじめ設定した機械グループごとに表示することができます。(アンドン形式での表示も可能です)



機械別指定期間表示



日時指定表示



機器単体販売も可能

ステーション親機およびステーション子機の単体販売も可能です。別途、有償の「親機フォーマット公開費用」と組み合わせることによって、お客様独自の機械設備情報収集システムの開発や、生産スケジューラなど他システムとの連携部分の開発を行うことができます。

※ステーション親機は、ステーション子機からの接点情報収集を行い、その情報をメモリ上に保持します。クライアント PC との TCP/IP 接続が確立したら、子機の接点情報を親機の LAN ポートから一括送信します。

比較的安価に導入可能

例えば、10 台の工作機で監視システムを導入しますと概算 120 万程の初期投資で実施できます。導入をご検討されているお客さまは弊社営業マンにお問い合わせください。